

国内実態調査報告書

テーマ : 奄美大島の地域課題と資源を探し、地域活性化のための新規事業を考える
ゼミ名 : 中村 寛樹ゼミ
調査日 : 2019年9月16日(月)~9月18日(水)
調査先 : はじめ商事、大島紬染織工房 HAJIMESHOUJI、本場大島紬織物協同組合、
国直集落まるごと体験 (NPO 法人 TAMASU)、町田酒造焼酎工場
授業科目名 : 演習 I・II
参加学生数 : 12名

調査の趣旨(目的)

奄美大島の社会経済状況や自然環境、文化、特に、奄美大島の伝統工芸品である大島紬の製造過程や製品に関して、製造現場などの現地調査および、大島紬を利用した新たな商品開発をしている会社の調査などを行う。

その際、大島紬および奄美大島全体を取り巻く地域課題を解決するための、ビジネスや新規事業の在り方について学ぶことで、本ゼミのテーマである地域課題の解決と社会起業への理解を深める。

調査結果

今回の現地調査では、文教学院大学の馬渡ゼミと一部合同で、主に、奄美大島の伝統的工芸品である大島紬の工房や本場大島紬織物協同組合へのヒアリング、大島紬を再利用した裂織新製品を開発している企業の現地調査を実施した。大島紬および大島紬の生産・販売が大きな地域経済の柱となっていた奄美大島を取り巻く環境は、着物文化の衰退や人口減少と高齢化等から大変厳しいものとなっている。その一方で、奄美大島出身や他地域から移住してきた若い人を中心に、奄美大島の特長を生かしながら地域を盛り上げるための様々な地域・企業活動が実施されている。本調査は、そのような取り組みを行っている企業・団体の訪問やヒアリング調査のみならず、学生自身の新事業・アイデア等について考える機会となった。加えて、学生達は、調査を通じて考察したことを、奄美大島の FM に出演して話したり、今回の調査先の方々とは夕食を共にしつつ議論したりすることで地域の方々にフィードバックすることができた。

なお、本調査では、学生は地域を実際にまわる際、本調査用地図アプリに、各場所の情報や気づき、写真を各自で投稿し、その情報を全員で共有、振り返りを行った。

